

# 「森林サービス産業（仮称）」 キックオフ・フォーラム 資料

2019年2月4日

一般社団法人 日本旅行業協会  
国内・訪日旅行推進部長 高井晴彦

# ■ (一社) 日本旅行業協会 “JATA” 概要

---

1. 正会員1,187社 (その他会委員995社)

2. MISSION : 価値創造産業への進化

観光立国の推進

新たな需要の喚起

3. 主たる事業 : ツーリズムEXPO JAPAN

ジャパン・ツーリズム・アワード

JATA経営フォーラム

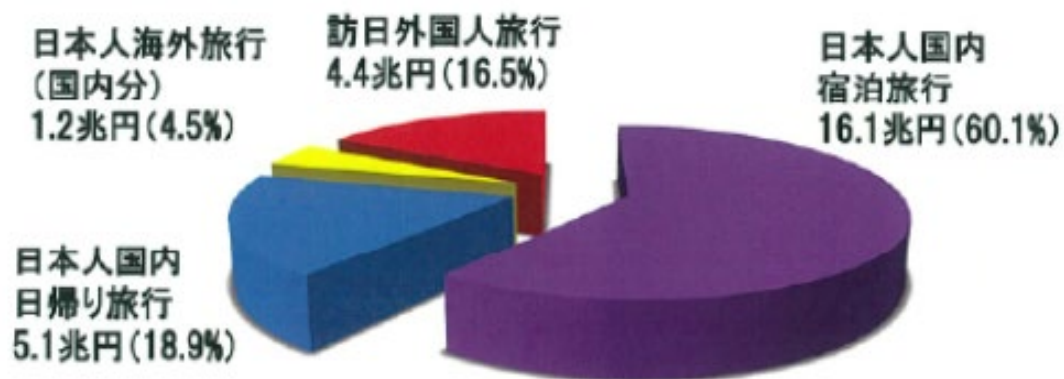
政策提言

## ■ 国内における旅行消費額

### 平成29年(2017年)の旅行消費額(暫定値)について

「旅行・観光消費動向調査」平成29年(速報)の公表に伴い、日本人海外旅行(国内分)や訪日外国人旅行者による消費額を含めた平成29年の我が国での旅行消費額を併せて公表します。  
なお、暫定値であり、今後、改定があり得ます。

26.7兆円

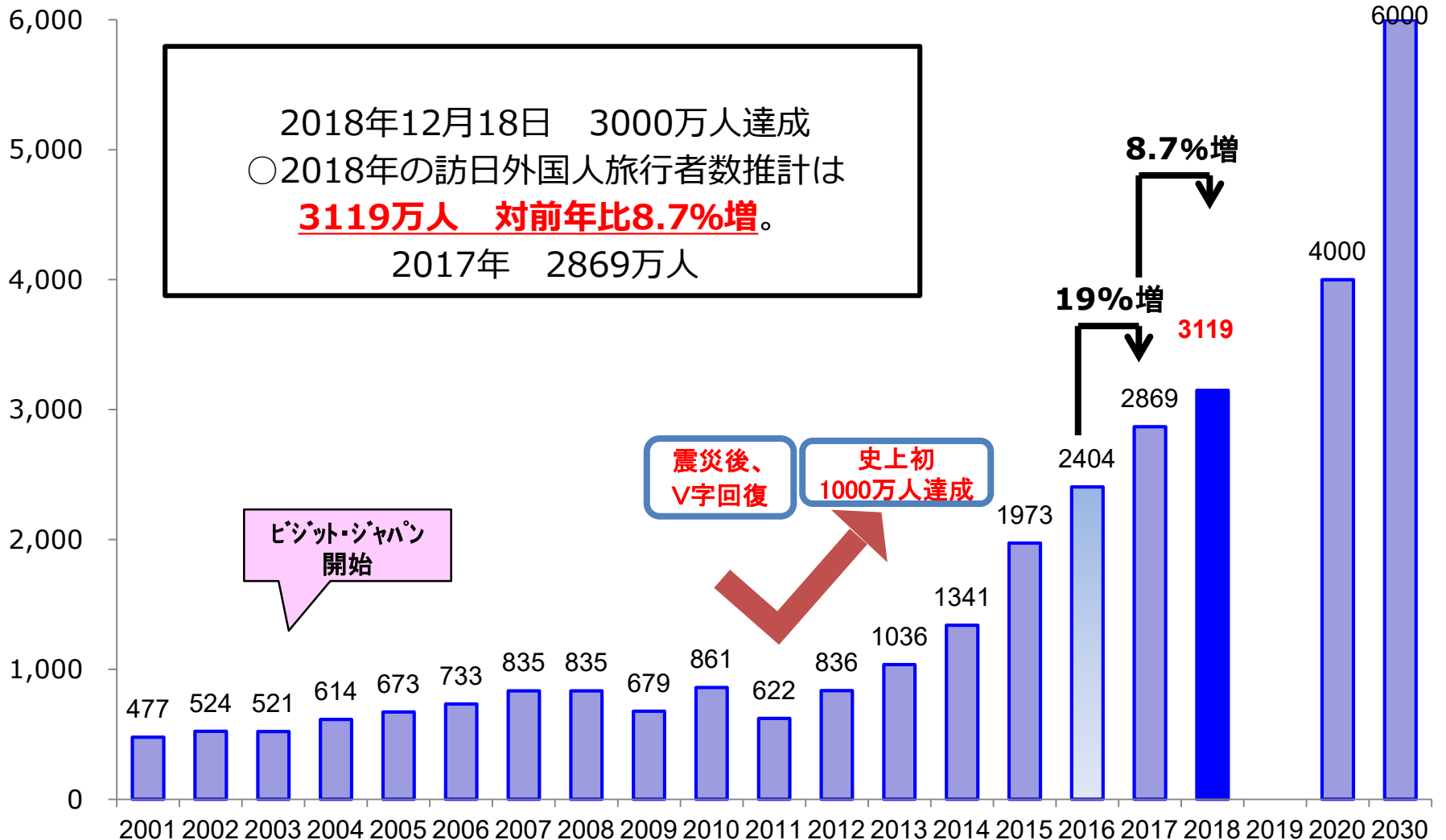


※数値は暫定値であるため改訂があり得る。

観光庁「旅行・観光消費動向調査」、「訪日外国人消費動向調査」より算出

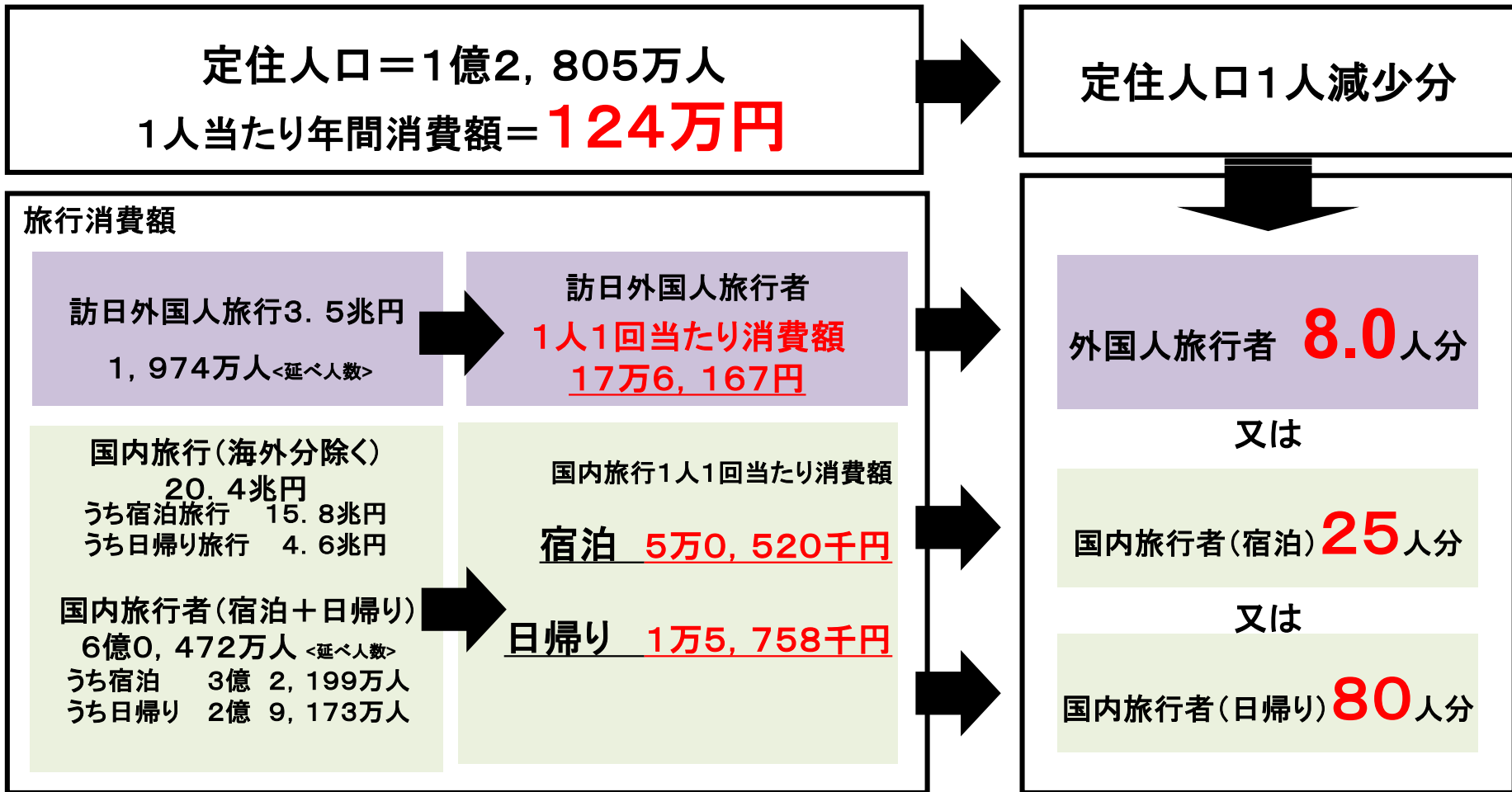
# ■外国人旅行者数は3119万人を達成

単位: 万人



# ■交流人口の増大=人口減少社会における地域活性化の切り札

日本人定住人口の一人当たり年間消費額は約**124万円**。旅行者の消費に換算すると、**外国人旅行者7人分、国内旅行者(宿泊)25人分、国内旅行者(日帰り)80人分**にあたる。



定住人口は2015年国勢調査 人口速報集計結果(総務省)、定住人口1人当たり年間消費額は2015年家計調査(総務省)による。  
 旅行消費額の訪日外国人旅行は訪日外国人消費動向調査(2015年)より算出、国内旅行は旅行・観光消費動向調査(2015年)より算出。  
 訪日外国人旅行者はJNTO(2015年)発表数値、国内旅行者は旅行・観光消費動向調査(2015年)より算出。  
 訪日外国人旅行者1人1回当たり消費額は訪日外国人消費動向調査(2015年)、国内旅行者(宿泊/日帰り)1人1回当たり消費額は旅行・観光消費動向調査(2015年)より算出。  
 定住人口1人減少分に相当する旅行者人数は、定住人口1人当たり年間消費額を訪日外国人旅行者又は国内旅行者1人1回当たり消費額で除したものの。

出典: 観光庁

# ■“もの消費からこと消費”へ

## 旅行動態の変化の状況②



### モノ消費からコト消費への移行

#### 娯楽サービス費購入率

2012年: **21.5%**    2017年: **35.7%**    ⇒ **14.2ポイント増**

#### 外国人観光客の消費支出に占める 娯楽サービス費の割合

2012年: **1.1%**    2017年: **3.3%**

(参考) 諸外国の外国人観光客の消費支出に占める娯楽サービス費の割合  
アメリカ(2015): 12.2%    フランス(2015): 11.1%  
カナダ(2016): 10.9%

### 1人1回当たりの旅行支出

#### 訪日外国人1人1回当たり旅行支出

2012年: **13.0万円**    2017年: **15.4万円**    2020年: **20.0万円**(※)

※2020年4,000万人、旅行消費額8兆円目標の達成のためには、1人1回当たり旅行支出20万円が必要

### 滞在日数

#### 平均泊数

2012年: **12.3泊**    2017年: **9.1泊**

【出典】娯楽サービス費購入率・訪日外国人1人1回当たり旅行支出・平均泊数: 訪日外国人消費動向調査(観光庁)  
外国人観光客の消費支出に占める娯楽サービス費の割合: TSA(観光庁)・Tourism Trends and Policies 2018(OECD)より観光庁作成



# ■ 関連省庁・地域との連携

## 1. 国立公園や日本遺産の活用

- ・ 国立公園満喫プロジェクト 8公園
- ・ ステップアッププログラム2020
- ・ 日本遺産 認定67ストーリー

### 【第3回 国立公園オフィシャルパートナーシップ締結】

- ① ツーリズムEXPOジャパンなどにおける観光関係者に向けての情報発信
- ② 会員会社向けのセミナーの実施
- ③ 三陸復興国立公園・みちのく潮風トレイルを活用した観光交流の振興を目的とする実地研修「JATAの道プロジェクト」の実施（平成32年度まで実施予定）

## 2. DMO法人86団体

- ・ 広域連携DMO 8件
- ・ 地域連携DMO 48件
- ・ 地域DMO 30件

DMO候補法人122

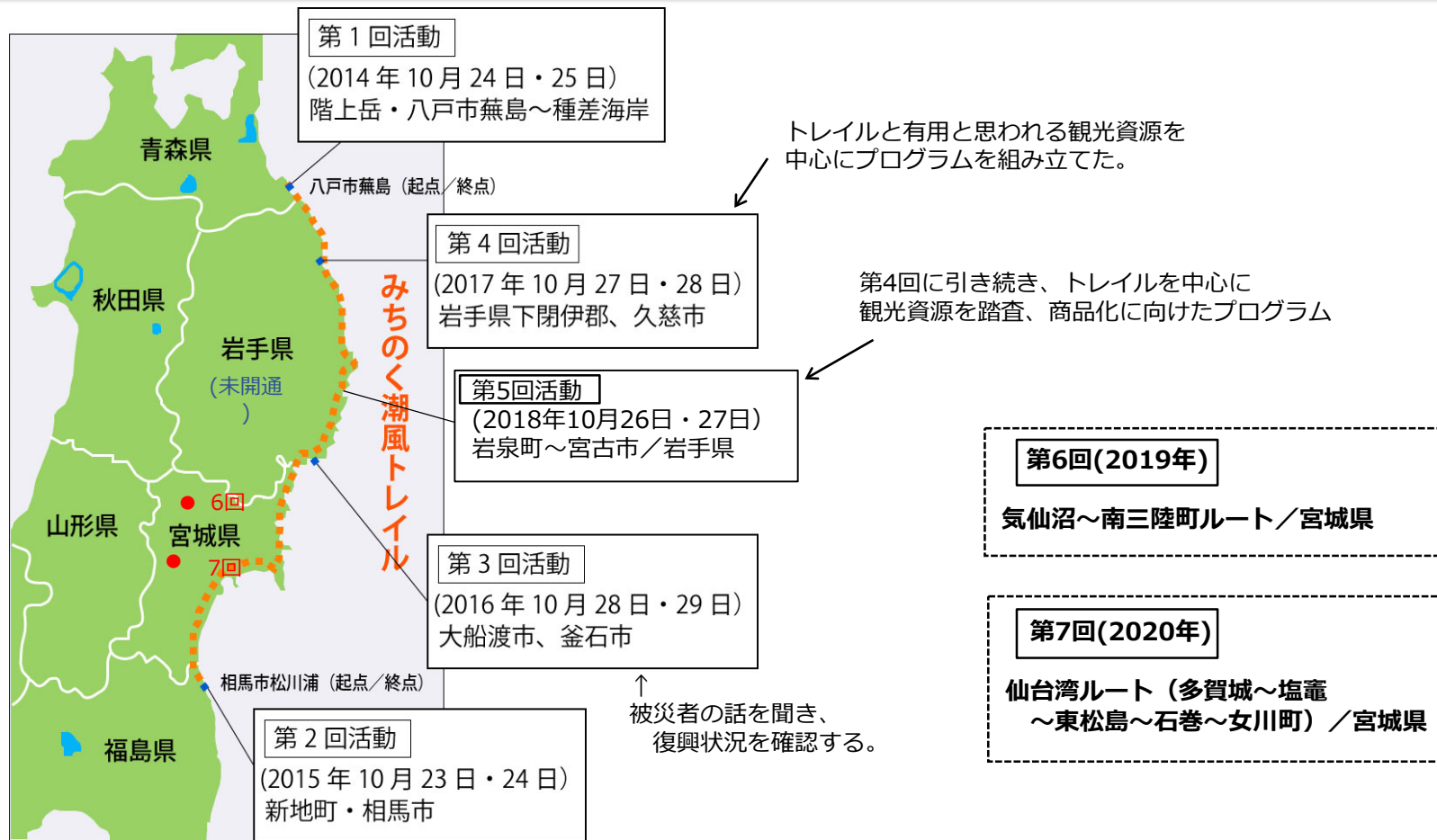


国、自治体、DMOとの連携強化

# ■ 東北復興支援 《JATAの道プロジェクト》 2014～2020年

## 2014～2020年 「JATAの道プロジェクト」活動状況・計画

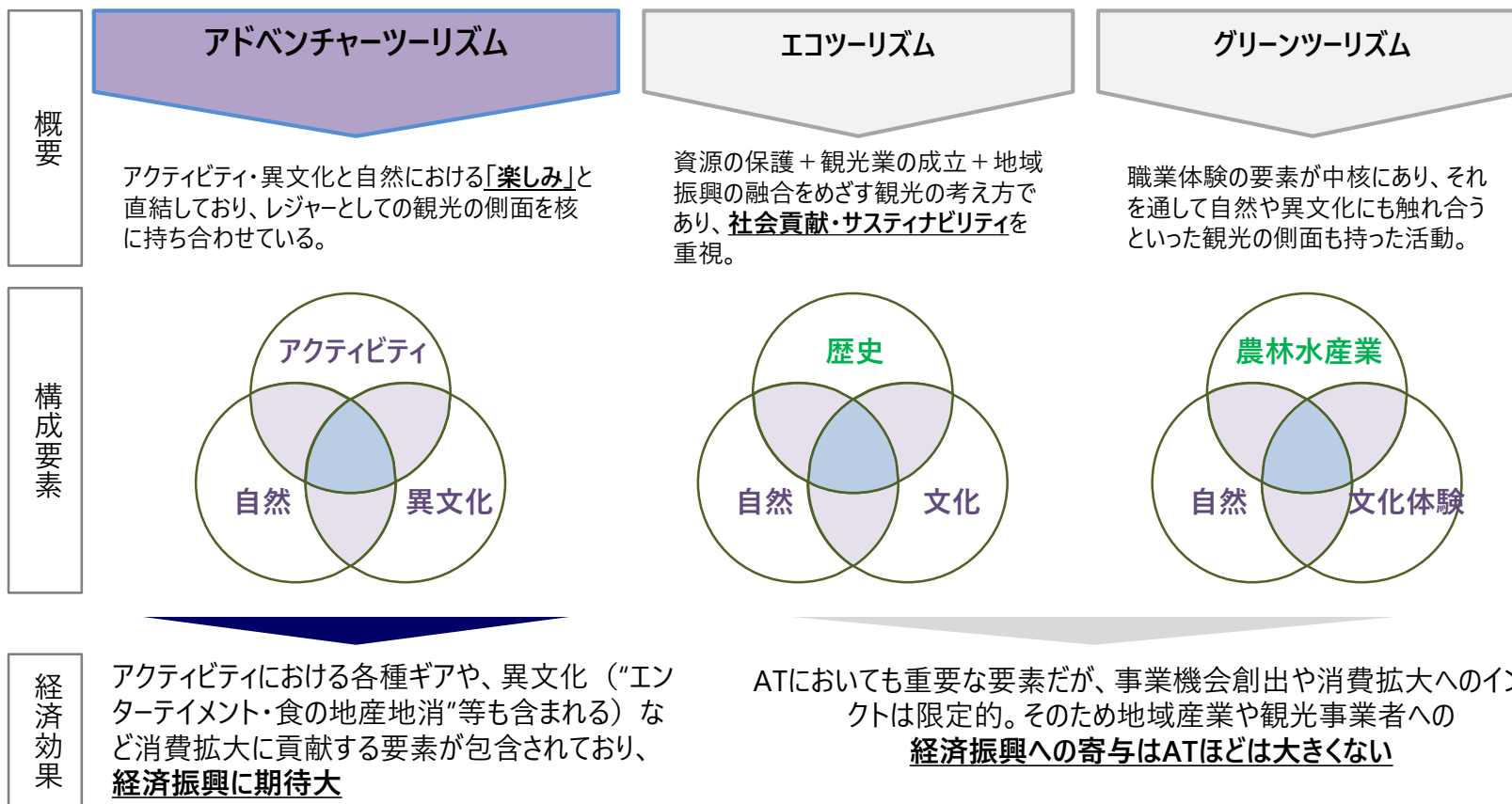
毎年各地域に旅行会社社員を中心とした業界関係者・プレス約70名が実際トレイルを歩き、道標設置・清掃活動や、自治体・地元観光関係者との意見交換を通じて、地域の自然環境や伝統芸能、食文化等から観光資源を見出し、商品造成、販売につなげていく





# ■ 森林利用のテーマツーリズムの考え方

アドベンチャーツーリズムは、自然や異文化といった軸ではエコツーリズムやグリーンツーリズムと共通項を持つものの、アクティビティによる「楽しみ」の要素が中核にあるため、観光客が自らより積極的にお金を費やす魅力があり、市場も拡大していると考えられる。



# ■アドベンチャートラベル体験事例

【出典】ATTAプレゼンテーション資料

## ADVENTURE TRAVEL EXPERIENCES

### EXAMPLES OF POPULAR ADVENTURE TRAVEL ITINERARIES



カメラマンとの  
ネイチャー・ウォーキング



ハイキング、野生動物ウォッチング



農村地域のサイクリング

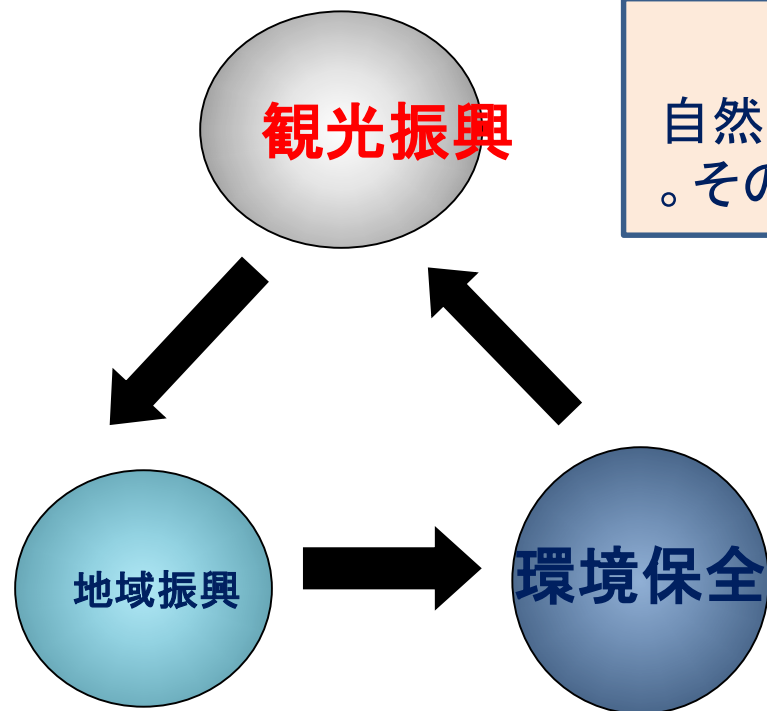


農村ツアー、農村伝統文化の学び



料理教室、伝統料理の食事

## ■ エコツーリズムの3大要素



### 【エコツーリズムの定義】

自然に配慮して観光を興し、地域に利益をもたらす。その利益の一部を観光保全にまわす循環の仕組み

### 【エコツーリズムの利点】

- \* 自然だけでなくその生活・文化も対象になる  
⇒自然に頼らないので、オフがない  
一見何も無い飯能市で年間150件のエコツアー
- \* エコツーリズム専門ガイドがいるので感動が大きい⇒リピート率が高い  
屋久島の白谷雲水峡の見学時間は30分  
ガイドのスキルで今は8時間で高い料金。
- \* 地元の食材は使うので、究極の地産地消

